

光学フェンスによる宇宙物体の軌道把握を通じた宇宙交通事故防止サービス開発

事業概要（フェーズ1）

内容

低軌道領域の宇宙物体の軌道情報のカタログを作成し、この独自宇宙物体カタログを用いた人工衛星運用者向けの衝突回避支援サービスの開発を目指す。

背景・経緯

近年、宇宙空間はスペースデブリやメガコンステレーション等により急激に混雑化し(図 4)、米口の衛星衝突による大量の二次デブリ発生(2009年)、デブリ衝突による中国の気象衛星破砕(2021)など、宇宙交通事故の発生リスクが深刻化している。

狙い、波及効果

独自宇宙物体カタログを用いた人工衛星運用者向けの衝突回避支援サービスを開発することで、宇宙の交通事故を防ぎ、宇宙技術を利用した豊かな社会と宇宙活動の未来をサポートする。

事業化

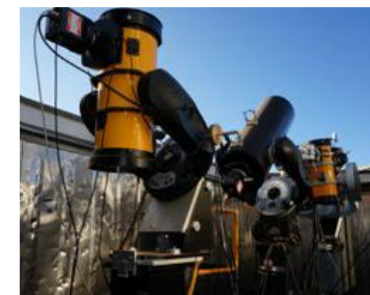
人工衛星運用者に対して、宇宙交通事故防止のためのナビサービスを販売・提供する。

Star Signal Solutions株式会社

本社所在地	東京都調布市深大寺東町7丁目44番地1調布航空宇宙センター宇宙3号館306気付
設立／資本金	2023年/250万円
従業員数	4名（2024年11月現在）
事業内容	宇宙状況の観測サービス、衛星衝突回避運用支援ナビサービス



デブリ衝突事故による大量の破片発生イメージ ©ESA



宇宙物体カタログの作成